

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年5月16日	記入者		連絡先	2823
平成18年度部名	環境事業部	課名	ごみ減量推進課	課長名	江成 博
平成19年度部名	資源循環部	課名	家庭ごみ減量課	課長名	江成 政興
事務事業名	美化運動推進事業補助金(相模原市美化運動推進協議会)				
予算上の事務事業名	美化運動推進事業補助金				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		21210		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくれます				
基本施策名	第2節 リサイクル型社会の構築				
施策名	第1施策 リサイクルシステムの構築とごみの減量化・資源化の推進				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模原市補助金等に係る予算の執行に関する規則				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	審議会・委員会・協議会	▼	5 事業開始年度	昭和63年以前	▼
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)	(2) 対象(誰、何)				
市民参加による美化運動及び美化思想啓発活動を積極的に展開し、美しくきれいなまちづくりを推進するため。	相模原市美化運動推進協議会				
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。	相模原市美化運動推進協議会補助金 美化運動を積極的に展開し、美しくきれいなまちづくりを推進するため、市民による美化運動と美化思想の啓発活動を実施している同協議会への補助。 会長：相模原市長 小川 勇夫、委員75名、補助金交付額 1,280,000円 (協議会の事業) ・市民地域清掃の実施 ・さがみはらごみダイエット講演会の開催 ・美化ポスター・美化標語・リサイクルレポートの募集、表彰 など				
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	他自治体においても同様の組織への補助制度がある。また、特定団体への補助ではなく、美化活動等を実施した団体に対する補助制度を実施している自治体もある。				
8 事業費の推移	[単位：千円]				
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	1,580	1,580	1,280	1,280	1,280
一般財源	1,580	1,580	1,280	1,280	1,280
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	4,035	4,025	4,025	4,025	4,025
事業コスト合計	5,615	5,605	5,305	5,305	5,305
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	美化ポスター・美化標語・リサイクルレポートの募集、表彰			対象名称と単位	応募作品/応募数
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	713	871	871	779	779
対 象 数	1,741	1,377	1,845	1,900	1,900
単位あたり経費(円)	410	633	472	410	410
前 年 度 比		1.54	0.75	0.87	1.00

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	総会・役員会等の出席率		指標式と指標の説明	総会・役員会等の参加人数 / 委員数 × 100%	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	65.6	46.7	48.8		
目標	70.0	70.0	70.0	75.0	80.0
目標達成度(%)	93.7	66.7	69.7		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	応募数増加率(%)		指標式と指標の説明	本年度応募数 ÷ 前年度応募数 × 100 応募作品の増加 = 美化意識の高揚が図られている	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	84.6	79.0	133.9		
目標	105.0	105.0	105.0	105.0	105.0
目標達成度(%)	80.6	75.2	127.5		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A: 妥当である・B: 妥当性に課題がある・C: 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A: 有効である・B: 有効性を高める余地がある・C: 有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A: 効率が良い・B: 効率性を高める余地がある・C: 効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
補助制度としては現状維持とするが、協議会設立の主旨を踏まえ、積極的な活動内容の周知を行うことや、委員所属団体の美化推進に向けた取組みに対する支援事業等、新たな取組みについて検討を進めたい。					
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
委員推薦団体の行う自主的な取組みに対する支援ホームページ等を活用した協議会活動内容の周知 入選作品を活用した啓発 など			近年、ごみや環境を取り巻く問題、社会情勢が次々と変化している中で、本協議会の活動は、成果がすぐに目に見えるものではない。次世代を担う子どもたちに対して、今後どのような啓発を行っていくのか、また、子どもたちを育むべき大人たちのモラル・マナーを変えていくために何ができるのかなど、事業内容の検討が必要と考える。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
事業の目的や効果を再度検証し、新たな取組みについて検討する。					